

令和 8 年度第 1 回安城市社会教育審議会 次第

日 時 令和 8 年 7 月 1 6 日（木）

午前 1 0 時～

会 場 へきしんギャラクシープラザ
（安城市文化センター）講座室

安城市民憲章唱和

1 辞令交付

2 教育長あいさつ

3 委員紹介

4 会長、副会長選出

5 協議事項

（1）令和 7 年度各課事業報告について

ア 生涯学習課（P. 3 ～ P. 1 1）

イ スポーツ課（P. 1 2 ～ P. 1 8）

ウ 文化振興課（P. 1 9 ～ P. 2 5）

エ アンフォーレ課（P. 2 6）

（2）第 4 次安城市生涯学習推進計画の進捗状況について（P. 2 7 ～
P. 3 2）

6 連絡事項

令和 8 年度社会教育委員関係会議等について（P. 3 3）

安城市民憲章

わたくしたちは、

たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。

きまりを守り、よい習慣を育てましょう。

自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。

教養を高め、若い力を育てましょう。

健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

安城市社会教育委員名簿

令和 8 年 6 月 1 日現在（敬称略）

No.	氏 名	所属	選任区分 (条例第 2 条)	備考
1	荒井 和夫	公益財団法人安城市スポーツ協会	学校教育及び社会教育の関係者	
2	安藤 寿英	公民館指導員会	学校教育及び社会教育の関係者	新
3	伊藤 朝野	さんかく 2 1 ・安城	学校教育及び社会教育の関係者	
4	浮森 和美	安城市図書館協議会	学校教育及び社会教育の関係者	
5	神谷 有弘	安城市スポーツ推進委員連絡協議会	学校教育及び社会教育の関係者	
6	神谷 恒行	安城文化協会	学校教育及び社会教育の関係者	新
7	神谷 浩	安城市文化財保護委員会	学校教育及び社会教育の関係者	
8	澤田 敏男	安城市町内会長連絡協議会	学校教育及び社会教育の関係者	新
9	早川 崇	安城市小中学校長会	学校教育及び社会教育の関係者	新
10	川口 武志	安城市小中学校 P T A 連絡協議会	家庭教育の向上に資する活動を行う者	新
11	鳥居 こずえ	青少年健全育成連絡協議会	家庭教育の向上に資する活動を行う者	

委員の任期 令和 8 年 6 月 1 日から令和 1 0 年 5 月 3 1 日まで

	氏 名	所属及び役職等
	石川 良一	教育長
事務局	澤田 一樹	生涯学習部 部長
	松元 淳一	生涯学習部 スポーツ課 課長
	朝岡 一秀	生涯学習部 文化振興課 課長
	沓名 広紀	市民生活部 アンフォーレ課 課長
	廣村 郁夫	生涯学習部 生涯学習課 課長
	浅野 雄一郎	生涯学習部 生涯学習課生涯学習係 係長
	鳥原 蓮花	生涯学習部 生涯学習課生涯学習係

安城市社会教育委員の職務内容

1 職 務

本市の社会教育審議会（年２回開催）において、主に生涯学習施策・活動全般について、総合的視点から意見を述べていただきます。

また、愛知県及び西三河地区単位で開催される、社会教育委員対象の会議・研修会にもご参加いただいております。

2 構成員

以下の生涯学習各分野からの代表者等で構成しています。（１１名）

文化協会、町内会長連絡協議会、小中学校長会、小中学校ＰＴＡ連絡協議会、青少年健全育成連絡協議会、公民館指導員会、さんかく２１・安城スポーツ協会、スポーツ推進委員連絡協議会、図書館協議会、文化財保護委員会

3 身 分 非常勤の特別職

3 協議事項

(1) 令和7年度各課事業報告について

ア 生涯学習課

款 項	50 25	教育費 社会教育費	目	5	社会教育総務費
○事業名 生涯学習計画推進事業 事業決算額 3,759,050 円					
第4次生涯学習推進計画の理念実現のため、社会教育審議会を開催した。また、令和8年度から令和14年度までの7年間を期間とする「安城市生涯学習推進計画(生涯学習・スポーツ)」を策定するため、策定委員会の開催、市民ワークショップなどを行った。					
○事業名 生涯学習市民参画推進事業 事業決算額 968,196 円					
市民主体の生涯学習の推進を図るため、市民団体との協働による講座の開催や、市民出前講座を開催した。					
市民企画講座の開催 (市民団体などの企画運営による講座)		8 講座	受講者数	101人	
市民出前講座の開催 (市民団体などが出向いて行う講座)		54 回	受講者数	3,660人	
自主グループ主催講座の開催 (公民館で活動している団体による講座)		25 講座	受講者数	81人	
○事業名 家庭教育・子育て支援事業 事業決算額 968,720 円					
社会教育の視点からの子育て支援と家庭教育の推進を図るため、気軽に相談と交流ができる場を提供した。					
子育て親育ち広場		ほのぼの広場の開催	49回	参加者数	1,027人
		ほのぼのクラブの開催	8回	参加者数	37人
○事業名 生涯学習情報提供事業 事業決算額 3,704,800 円					
生涯学習関連の情報提供業務を委託し、概要版を広報折込、冊子版を市内公共施設での閲覧に供するとともに市公式ウェブサイトでも情報を発信した。					
生涯学習情報誌「あんてな」発行 4回(春・夏・秋・冬号) 委託料 3,704,800円					
					
<あんてな概要版>			<あんてな冊子版>		

款	50	教育費	目	10	公民館管理費
項	25	社会教育費			

○事業名 公民館施設管理事業 事業決算額 528,015,811 円

生涯学習機会を提供するほか、文化活動グループなどの活動拠点として、良好な施設環境の提供に努めた。

施設の利用状況(児童センターを除く。)

公民館名	室利用件数(件)	室利用人数(人)	図書等利用人数(人)	総利用人数(人)
文化センター	5,867	123,604	2,639	126,243
桜井公民館	6,046	105,050	38,184	143,234
北部公民館	5,097	114,366	52,875	167,241
西部公民館	1,757	21,735	20,139	41,874
作野公民館	3,071	42,447	50,190	92,637
安祥公民館	3,706	48,281	7,666	55,947
東部公民館	2,850	33,425	16,507	49,932
明祥公民館	3,227	72,384	54,801	127,185
二本木公民館	3,767	49,269	42,411	91,680
中部公民館	3,445	60,986	10,085	71,071
昭林公民館	4,726	63,259	7,682	70,941
計	43,559	734,806	303,179	1,037,985

「へきしんギャラクシープラザ」に係るネーミングライツ料(令和7年4月～令和8年3月分)(愛称使用期間:令和7年4月1日～令和12年3月31日) 2,750,000円

款	50	教育費	目	15	公民館事業費
項	25	社会教育費			

○事業名 天文普及事業 事業決算額 36,551,195 円

プラネタリウム番組投映やプラネタリウムイベントの開催などを通じて、将来を担う子どもたちに天文や宇宙に関する興味を抱かせるとともに、一般観覧者に対しても広く天文普及に努めた。

利用状況

種別	投映回数(回)	観覧人数(人)
一般投映	620	24,217
団体投映	105	5,482
計	725	29,699

プラネタリウムイベント

イベント名	回数(回)	参加人数(人)
あんブラ・プラネタリウムスペシャル	9	732
音楽の星空	3	321
星とアロマのひととき	4	174
楽しい天文学	3	175
お星さまとあそぼ	10	579

天体観望会

内容	回数(回)	参加人数(人)
天体観望会の開催	4	251

※4回(内1回は雨天のため解説のみ実施)

天文グッズ販売

内容	販売品数	販売個数(個)
天文グッズの販売	56種類	2,287



<天文グッズ販売>



款	50	教育費	目	15	公民館事業費
項	25	社会教育費			

○事業名 公民館講座事業 事業決算額 11,614,420 円

文化センターでは、社会課題テーマ講座、シルバーカレッジ、ものづくり講座の開催、地区公民館では公民館講座を開催し、市民への多様な学習機会を設けた。また、子ども向け音楽イベントとして、子どもの出演者と大人の音楽グループの共演イベントを開催した。

公民館名	事業費(円)	講座数(講座)	回数(回)	参加人数(人)
文化センター	5,469,303	46	137	1,462
桜井公民館	608,818	20	66	410
北部公民館	782,266	19	67	459
西部公民館	780,795	22	66	440
作野公民館	428,720	18	47	282
安祥公民館	591,418	16	54	278
東部公民館	598,162	18	51	337
明祥公民館	460,795	19	42	391
二本木公民館	511,974	17	51	292
中部公民館	639,111	19	51	370
昭林公民館	743,058	20	61	451
計	11,614,420	234	693	5,172



＜子ども向け音楽イベント(鼓響～未来へ繋ぐ共鳴～ SHIN×東山太鼓)＞

○事業名 公民館地域ふれあい事業 事業決算額 9,611,107 円

地区公民館で活動しているグループや個人が学習成果を発表する機会として、また市民に公民館活動を広く知ってもらうため公民館まつりを開催した。さらに各地域、各公民館の特性を生かしながら地域住民のふれあいを深めたり、各種文化に親しむ事業を実施した。



参加人数 28,698人

款	50	教育費	目	20	市民会館管理費
項	25	社会教育費			

○事業名 市民会館施設管理事業 事業決算額 82,343,215 円

平成27年度から指定管理者制度を導入し、令和5年度から5年間で指定管理者として株式会社ケイミックスパブリックビジネスが管理運営を行っている。

施設の利用状況

項目	利用数	利用人数(人)
ホール(ホワイエのみの利用を含む。)	213 日	83,010
会議棟(9室)	3,416 回	50,828
楽屋6・7号室、リハーサル室	1,120 回	8,339

市民会館事業実績

事業名	開催回数(回)	入場者数(人)
松浦航大×よよちゃんジョイント歌まねライブ	1	1,140
恐竜ラボ	4	2,058
市民連携プロジェクト(第九演奏会)	1	850
伝統芸能まといあわせ	1	1,112
市民国際プログラム キーウ・グランド・バレエ・シアター	1	1,016
サルビア講演会	1	361
セルフプロデュース講座	1	16
アーティストアーカイブス	通年	3
ホールの楽しい遊び方体験 For kids	1	18
ホールのかしこい使い方講座	1	7
地域連携コンサート	1	30
ランチタイムコンサート	1	130
私だけのホール体験	7	126
安城らくご会	1	863
演劇 大誘拐	1	815
HEART GLOBALミュージック・アウトリーチ	3	620
劇団四季 赤毛のアン	1	1,149
計	27	10,314



＜安城市民会館＞



＜市民連携プロジェクト(第九演奏会)＞

款	50	教育費	目	30	青少年の家管理費
項	25	社会教育費			

○事業名 青少年の家管理運営事務 事業決算額 23,055,940 円

青少年に研修の場と機会を提供するなど、各種団体や青少年活動の拠点として、合理的な運営とサービス向上に努めた。また、軽スポーツやレクリエーションにより、体育室の利用の促進を図った。

施設の利用状況

区分	青少年	一般	計
利用件数(件)	4,539	994	5,533
利用人数(人)	42,390	11,443	53,833



<調理実習室>



<体育室>

款	50	教育費	目	35	青少年の家事業費
項	25	社会教育費			

○事業名 青少年健全育成事業 事業決算額 17,451,224 円

各小中学校・高等学校の青少年健全育成会と、各中学校区・高等学校区の青少年健全育成協議会に、地域における青少年健全育成に関する取組の実施を委託した。

区分	団体数	主な取組内容
青少年健全育成会	36 団体	あいさつ運動、街頭指導、スマホの利用指導、学区情報交換
青少年健全育成協議会	9 団体	

明朗健全で他の模範となる児童・生徒、青少年の健全育成に向けて活動している指導育成者を顕彰するため表彰した。

区分	被顕彰者数
明朗健全で他の模範となる児童・生徒	29 人
青少年の健全育成に向けて活動している指導育成者	6 人 4 団体

登下校時や屋外で遊ぶ子どもたちが、非常時に駆け込み避難できる「こども110番の家」の設置を推進した。

内容	設置か所数
こども110番の家設置の推進	1,115 か所

各小中学校区で実施される親と子のふれあいを目的とした「地域ぐるみ親子ふれあい推進事業」に対する補助を行い、健全な家庭環境の推進を図った。

令和6年度に実施した18学区については、各学区子ども会が中心となり親子、他学年、親同士がふれあえる交流を図ることができた。

実施した学区及び参加者	主な実施内容
15 学区 3,194 人	パン作り、ドッジボール大会、クリスマス会など

不登校、ひきこもりなどの生きづらさを抱える若者とその保護者に対して相談支援などを実施した。

内容	実績
相談支援	利用者数 202 人 相談回数 2,199 回
親の学習会(ほっと一息サロン)	参加者数 37 人 開催回数 6 回



<こども110番の家 旗とプレート>

<相談支援窓口(こども若者総合相談センターあんさぼ)>

款	50	教育費	目	35	青少年の家事業費
項	25	社会教育費			

○事業名 成人の日記念事業 事業決算額 5,786,314 円

二十歳という人生の節目を祝うことを目的として、二十歳を祝う会を開催した。二十歳の実行委員会が当日の司会、記念冊子デザインなどに携わった。

内容	参加者
日時: 令和8年1月11日 場所: 東祥アリーナ安城	1,545 人



<二十歳を祝う会の様子>

○事業名 少年団体支援事業 事業決算額 5,050,597 円

子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウトなどの少年団体の活動に対する補助を行った。

少年団体	団体数	会員数
単位子ども会	79 団体	3,252 人
ボーイスカウト	2 団体	163 人
ガールスカウト	2 団体	63 人

○事業名 青年講座事業 事業決算額 977,862 円

次世代を担う青年の知識の向上や地域社会のリーダーの育成のため、ユースカレッジやヤングセミナーを開催した。

内容	講座数	受講者
第72期ユースカレッジ	33 講座	17 人
青年講座	8 講座	59 人

※5回以上出席者



<ユースカレッジの様子>

○事業名 子ども運動広場補助事業 事業決算額 19,060,521 円

子ども運動広場を設置する町内会(22町内会)に、広場の管理運営に対する補助を行った。

款	50	教育費	目	50	安祥閣管理費
項	25	社会教育費			

○事業名 安祥閣施設管理事業 事業決算額 9,475,483 円

平成18年から指定管理者制度を導入し、令和6年度から5年間で指定管理者としてテルウェル西日本株式会社東海支店が管理運営を行っている。

施設の利用状況

項目	利用件数(件)	利用人数(人)
茶室、和室	1,182	30,286

安祥閣事業実績

事業名	開催回数(回)	参加人数(人)
茶会	2	32
子供向けの華道教室	2	18
箏の演奏会	1	46
バイオリンとお茶体験コンサート	1	30
ベビーマッサージ教室	1	12
座禅教室	2	41
書道教室	2	16
ピラティス教室	4	32
己書体験	2	23
計	17	250



<安祥閣>



<子供向けの茶道教室>

イ スポーツ課

款	50	教育費	目	5	保健体育総務費
項	30	保健体育費			

○事業名 地域スポーツ振興事業 事業決算額 15,992,008 円

スポーツ推進委員の活動や学校施設開放事業、歩けランニング運動など地域で活動するグループの支援を行った。ラジオ体操普及の取組として、小学校への講師派遣を行った。また、休日部活動の段階的な地域展開に伴い、中学生がスポーツに継続して親しむことができるよう、各競技団体などと連携して「中学生日曜教室」を開催した。

主な内容	参加状況など
ラジオ体操実技講習会	参加者64人
地域スポーツ振興事業(地域で行うスポーツ事業)	67事業 8,850人
「おはよう！ふれあいラジオ体操会」の開催	101会場、42日間、延べ29,097人
市民地域スポーツ交流会事業	8中学校区 1,728人
学校施設スポーツ開放事業	開放回数10,951回 利用者数194,027人
中学生日曜教室	年2期 12種目 参加者373人

<ラジオ体操実技講習会>



<中学生日曜教室>



○事業名 競技スポーツ振興事業 事業決算額 33,965,349 円

安城選手権大会夏季水泳競技会・秋季競技会・冬季スキー競技会を開催し、競技スポーツの振興・育成を図った。安城選手権大会の他にも、スポーツスクールや指導者養成講習会などを公益財団法人安城市スポーツ協会に委託して開催した。

主な内容	参加状況など
安城選手権大会(夏季・秋季・冬季)	3,618人
スポーツスクール開催事業	年3期 32講座 1,129人
指導者養成講習会開催事業	209人

○事業名 スポーツ振興計画推進事業 事業決算額 2,831,840 円

スポーツ推進審議会を開催し、第2次スポーツ振興計画の進捗状況について審議を行った。また、令和8年度から令和14年度までの7年間を期間とする「生涯学習推進計画(生涯学習・スポーツ)」を策定した。

款	50	教育費	目	5	保健体育総務費
項	30	保健体育費			

○事業名 ホームチームサポーター事業 事業決算額 2,010,712 円

令和4年度に発足したJD. LEAGUE(日本女子ソフトボールリーグ機構)において、デンソーブライトペガサスのホームゲームを2節、Wリーグ(バスケットボール女子日本リーグ)において、アイシンウイングスのホームゲームを2節の計4節を本市で開催した。

また、「安城市のスポーツ選手と遊ぼう!」では、各チームの選手と785名の園児が交流を図った。その他、各チームがオレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーンなどの啓発活動に参加し、事業のPRを行った。

名称	活動内容など
デンソーブライトペガサス	JD. LEAGUE安城大会開催(4/12・14,5/18・19)3,105人 「安城市のスポーツ選手と遊ぼう!」の開催(市内5園訪問)
アイシンウイングス	Wリーグ安城大会開催(12/20・21,1/31・2/1)4,332人 「安城市のスポーツ選手と遊ぼう!」の開催(市内5園訪問) 市内小中学生バスケットボールチーム向けのクリニック開催(6/29)45人 「ANJO みんなのスポーツフェスティバル 2025」(6/15)4,791人
GTRニッセイチーム共通	市内中学生軟式野球チーム向けのクリニック開催(3/21)96人 オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーンなどの啓発活動

○事業名 国際・全国大会推進活動事業 事業決算額 10,159,511 円

令和元年から続く全日本大学女子ソフトボール選手権大会(インカレ)の開催支援やプロレスイベントを活用したシティプロモーションを展開した。また、令和8年に開催される第20回アジア競技大会の機運醸成に向け、各種イベントにてブース設置によるPRや、小学校へアジア競技大会をPRする出張授業を実施し、多くの市民への周知活動を行った。

名称	開催日
第60回全日本大学女子ソフトボール選手権大会(インカレ)	8月29日～31日
新日本プロレスイベント(NEW JAPAN ROAD in ANJO)	11月8日
アジア競技大会PRブース出展(全24回)	1月18日 など
アジア競技大会PR小学校等出張授業(全7回)	9月4日 など

<新日本プロレスイベント(NEW JAPAN ROAD in ANJO)>



<アジア競技大会PR出張授業>



款	50	教育費	目	5	保健体育総務費
項	30	保健体育費			

○事業名 シーホース三河応援事業 事業決算額 3,264,314 円

プロバスケットボールチーム「シーホース三河」による公開練習を開催し、市民がプロスポーツに触れる機会を創出するとともに、中学生を対象とした技術指導会を実施した。また、シーホース三河応援観戦バスツアーを実施し、本市における「みる」スポーツの振興を図った。

<「シーホース三河」の公開練習>



<技術指導会>



○事業名 アジア競技大会推進活動事業 事業決算額 6,635,736 円

大会への機運醸成のため、JR安城駅や名鉄新安城駅をはじめ、市役所正面入り口などにシティドレッシングを実施するとともに、PR動画を作成し、大型LEDビジョンなどで投映した。また、近代五種アジア選手権開催に合わせ県と共催でオブスタクル競技体験イベントなどを実施した。

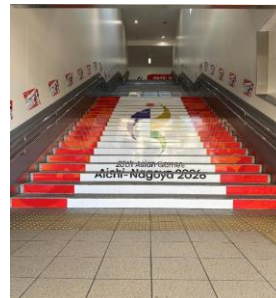
<市役所本庁舎入り口>



<JR安城駅南口デッキ>



<名鉄新安城駅北口階段>



款	50	教育費	目	15	体育施設管理費
項	30	保健体育費			

○事業名 屋外体育施設管理事業 事業決算額 1,317,593,632 円

総合運動公園内屋外施設、和泉公園運動広場、西部グラウンドゴルフ場、秋葉公園テニスコートの維持及び管理を行った。

安城市ソフトボール場の観客席等改修工事及び総合運動公園の園路等改修工事などを行った。

屋外体育施設利用状況

区分	令和7年度利用人数(人)	令和6年度利用人数(人)
陸上競技場	38,999	55,463
野球場	30,709	35,430
テニスコート	75,068	78,769
ソフトボール場	17,496	24,574
多目的グラウンド	42,534	35,145
和泉公園運動広場	24,391	19,650
西部グラウンドゴルフ場	4,828	4,434
秋葉公園テニスコート	18,823	19,667
計	252,848	273,132

※令和7年度は6月から3月まで改修工事により、ソフトボール場A面を休業

※令和7年度は11月から3月まで認定更新工事により、陸上競技場を休業

※令和7年度は1月から2月まで夜間照明改修工事により、野球場を休業

総合運動公園等芝生・樹木管理業務委託料 19,030,000 円

屋外体育施設管理業務(シルバー)委託料 14,190,188 円

ソフトボール場A球場観客席及び屋根改修工事監理業務委託料 14,245,000 円

安城市総合運動公園園路等改修工事 400,950,000 円

ソフトボール場A球場観客席及び屋根改修工事 701,469,500 円

令和7年度安城市総合運動公園陸上競技場第4種L認定更新工事 86,783,400 円

<総合運動公園園路改修>



<ソフトボール場A球場改修>



<陸上競技場第4種L認定更新>



款	50	教育費	目	5	体育館管理費
項	30	保健体育費			

○事業名 体育館施設管理事業 事業決算額 95,982,938 円

スポーツを通じて、体力・健康の維持増進を図るため、体育館施設の維持及び管理を行った。

体育館利用状況

区分	令和7年度利用人数(人)	令和6年度利用人数(人)
体育場	95,556	84,366
ランニングコース	859	451
卓球場	49,837	49,406
剣道場	21,178	18,235
柔道場	15,009	17,212
弓道場	5,085	4,553
会議室	4,767	4,788
大会議室	-	-
計	192,291	179,011

※令和6年度より、大会議室はアジア競技大会推進室の事務室としたため利用休止とした。

体育館清掃業務委託料 17,804,160 円

駐車場警備業務委託料 6,729,800 円

建築設備等定期検査業務委託料 1,881,000 円

空調設備等保守点検業務委託料 1,628,000 円

自家用電気工作物保安管理業務委託料 1,848,000 円

室内競技表示盤点検業務委託料 1,056,000 円

1階大会議室空調機修繕 3,916,000 円

防火設備修繕 5,764,000 円

< 東洋アリーナ安城(安城市体育館) >



款	50	教育費	目	25	レジャープール管理費
項	30	保健体育費			

○事業名 レジャープール施設管理事業 事業決算額 96,546,264 円

環境クリーンセンターのごみの焼却熱を利用した、レジャー型温水プールを平成11年にオープン。平成18年度から指定管理者制度を導入し、令和3年度から新たに5年間契約した(指定管理者：TAC・テルウェル共同事業体)。

レジャープール利用状況

区分	令和7年度利用人数(人)	令和6年度利用人数(人)
プール個人	184,447	195,024
プール専用	26,762	26,780
トレーニングルーム	31,406	31,238
計	242,615	253,042

指定管理委託料 91,766,000 円

起流ポンプ取替修繕 4,620,000 円

<レジャープール外観>



<レジャープール内観>



款	50	教育費	目	30	スポーツセンター管理費
項	30	保健体育費			

○事業名 スポーツセンター施設管理事業 事業決算額 251,389,164 円

体力・健康の維持増進のため、だれでも気軽に利用できるスポーツ施設として管理・運営を行った。

スポーツセンター利用状況

区分	令和7年度利用人数(人)	令和6年度利用人数(人)
アリーナ	53,653	49,978
会議室	961	1,145
プール個人	33,497	35,253
プール専用	13,792	13,550
エアロビクスルーム	7,284	6,959
トレーニングルーム	52,360	52,282
計	161,547	159,167

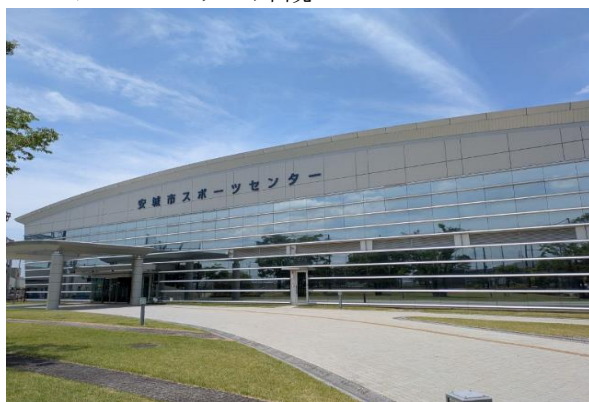
総合受付・プール監視・トレーニング等業務委託料 72,180,000 円

機械設備運転管理業務委託料 55,277,200 円

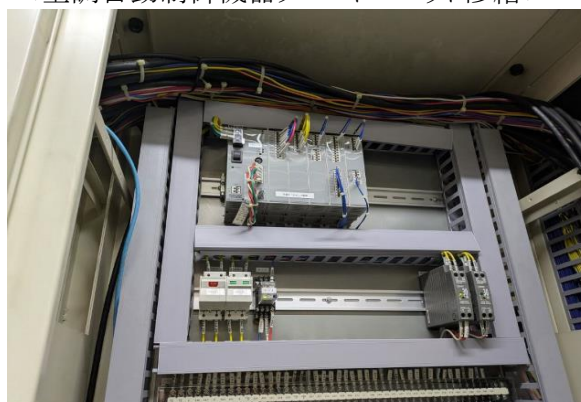
空調自動制御機器リモートユニット修繕 960,300 円

排煙窓開閉装置修繕 764,500 円

<スポーツセンター外観>



<空調自動制御機器リモートユニット修繕>



ウ 文化振興課

款	50	教育費	目	25	文化振興費
項	25	社会教育費			

○事業名 市民ギャラリー企画展事業 事業決算額 3,473,083 円

展覧会名	日数(日)	観覧者数(人)
絵画から見る日本デンマークの時代～愛知近代美術の表現者たち～	32	1,483
旅人のレンズー風景画の世界ー	10	1,431
横山夕葉展 墨跡に込める心の響き	15	1,562

<絵画から見る日本デンマークの時代
～愛知近代美術の表現者たち～>



<横山夕葉展 墨跡に込める心の響き>



○事業名 芸術鑑賞会事業 事業決算額 4,213,935 円

公演種別	公演数(事業)	公演回数(回)	入場者数(人)	入場料収入(円)
入場料収入のある公演	1	1	221	461,000
	人間国宝野村峰山と竹の新撰組 尺八LIVE			

公演種別	公演内容	参加者数(人)
学校アウトリーチ	古典芸能アウトリーチ(和太鼓・尺八)	359
	クラシック音楽アウトリーチ(弦楽四重奏・マリンバ)	276

○事業名 市民ギャラリー講座事業 事業決算額 2,102,401 円

講座数(講座)	開催回数(回)	受講者数(人)	延べ受講者数(人)
14	93	203	1,046

○事業名 文化芸術協働事業 事業決算額 12,283,105 円

催し物名	日数(日)	出品数(点)	観覧者数(人)
第82回安美展(美術の公募展)	18	510	4,566

催し物名	団体数(団体)	人数(人)	来場者数(人)	開催時期
第58回市民芸能まつり	37	502	1,128	10月11、12日
文芸・技芸・趣味の集い	13	215	12,932 (内菊花展11,546)	10月10～12日、11月2～8日
第37回市民文芸まつり	応募数(句・首) 俳句 7,249 短歌 2,240	応募者(人) 6,209	180	11月23日 (発表大会)

款	50	教育費	目	25	文化振興費
項	25	社会教育費			

名称	公演名	入場者数(人)
市民公募文化事業(舞台) (公募により公演を補助)	第9回コーロ・ヴォーチェ演奏会 ～創立40周年を迎えて～いのちの響き	481
	学校で聴いた名曲をホールで聴こう 教科書クラシック第2弾	700
	第14回定期演奏会	600
	ビッグ・ラバーズ・オーケストラ第18回定期演奏会	750
	安城市民吹奏楽団第52回定期演奏会	804
	安城市少年少女合唱団第21回定期演奏会	505
	みんなで楽しむ クリスマスコンサート	60
	読み聞かせコンサート	128
	五感で味わう癒しと感動のハーモニー	
	第6回安城ヴォーカル・フェスティバル	270
	第38回竹友会 民謡と和太鼓発表会	800

名称	公演名	入場者数(人)
市民公募文化事業(美術) (公募により展示を補助)	Nanaha「描破～空白に描くスケッチ～」	181

催し物名	団体数(団体)	参加者数(人)
第42回市民演劇祭	6	415

名称	開催回数(回)	受講者数(人)	延べ参加者数(人)
アートマネジメント講座	9	9	44
アートマネジメント講座受講生主催 「弦楽四重奏による癒しコンサート」	1	5	114

部活動地域展開に伴い、中学生が文化活動に継続して親しむことができるよう、「中学生日曜教室(音楽・美術)」を開催した。また、地域文化活動団体、地域音楽活動団体と連携し、中学生が参加可能な文化芸術活動の場の周知を図った。

名称	開催回数(回)	受講者数(人)	延べ参加者数(人)
中学生日曜教室(音楽)	30	76	146

こどもたちの舞台芸術発表の機会提供と企画運営能力の向上を目的とした「安城市こども文化祭」を開催した。出演者は実行委員会にてテーマやチラシキャッチコピーを話し合い、舞台演出を行った。

名称	開催回数(回)	出演者数(組)	入場者数(人)
安城市こども文化祭	1	5	140
ホール講習会・実行委員会	4	4	17

< 中学生日曜教室(音楽) >



< 安城市こども文化祭 >



○事業名 文化活動団体支援事業 事業決算額 2,160,000 円

名称	件数(件)
文化活動団体支援事業補助金	1(文化協会加盟団体数67)

款	50	教育費	目	60	歴史博物館管理費
項	25	社会教育費			

○事業名 歴史博物館等施設管理事業 事業決算額 453,348,240 円

平成28年度から指定管理者制度を導入し、令和6年度から5年間の指定管理者として管理運営の一部を安祥文化のさと地域運営共同体が行っている。

歴史博物館利用状況	利用者数(人)
博物館入館者	40,466
展示室観覧者(常設展・企画展・特別展含む)	40,206
文献資料室利用者	134
行事参加者	32,248
その他	6,405
延べ利用者合計	78,993

歴史博物館指定管理者事業	開催回数(回)	参加人数(人)
体験講座	7	632
歴博演芸場など	14	1,381
展示関連イベント	37	20,267
歴博イベント(ナイトミュージアム含む)	22	8,892
自主事業	12	326
合計	92	31,498

市民ギャラリー・埋蔵文化財センター利用状況	利用者数(人・団体)
市民ギャラリー入館者	63,463
〃 利用団体	61
〃 延べ入館者	137,665
埋蔵文化財センター入館者	11,147

市民ギャラリー指定管理者事業	開催回数(回)	参加人数(人)
自主展示	5	23,502
講座	9	253
展示関連イベント	9	459
ナイトミュージアム	1	25
合計	24	24,239

款	50	教育費	目	65	歴史博物館事業費
項	25	社会教育費			

○事業名 歴史博物館展示事業 事業決算額 25,871,411 円

展覧会名	日数(日)	観覧者数(人)
企画展「日本デンマークと呼ばれた時代 ー100年前の碧海地域と農業ー」	63	5,558
特別展「空襲に備えよー総力戦下の家庭防空ー」	40	3,933
特別展「日本妖怪展」	47	8,780
特別展「白山信仰と三河三白山」	45	2,955
企画展「村中安全ー江戸時代の村と人々の営みー」	39	4,146
合計	234	25,372

名称	開催回数(回)	参加人数(人)
特別展・企画展記念講演会	5	225

<特別展「日本妖怪展」エントランス>



<企画展「日本デンマークと呼ばれた時代
ー100年前の碧海地域と農業ー」企画展示室>



○事業名 歴史博物館講座等開催事業 事業決算額 520,603 円

名称	開催回数(回)	参加人数(人)
歴博講座・入門講座	5	241
連続講座	8	160
松平講演会	1	124
出前講座など	8	373
合計	22	898

<三河三白山を巡るウォーキング>



<松平講演会>



款	50	教育費	目	70	文化財保護費
項	25	社会教育費			

○事業名 史跡整備事業 事業決算額 197,835,592 円

◎国史跡本證寺境内保存活用整備事業

学識経験者及び地元住民による整備検討会議(4回)を開催し、本證寺史跡公園の整備に関する設計などを検討した。検討結果等をもとに、整備工事を進めた。

事業内容	事業費(円)
整備工事(土塁修復、貯留池整備、敷地造成、舗装等)	179,153,700
実施設計業務委託	5,270,100
古民家改修設計等業務委託(旧神谷家住宅主屋)	8,237,801

「歴史まちづくり」を進めるため、未来寺子屋(ワークショップ)を合計11回開催し、参加者がイベントなどを企画、運営するとともに、桜井中学校と協働して盆踊りを開催した。

〈史跡整備工事〉



〈未来寺子屋(先進地視察)〉



〈中学生と協働の盆踊り〉



○事業名 文化財保護事業 事業決算額 11,090,883 円

文化財管理調査 安城市文化財保護委員による指定文化財の現状確認調査	32 件
史跡説明看板リニューアル(水月寺のシイ、安城古城址、桜井城址ほか)	7 件
東海道のマツ並木補植(安城北部小・里町小・志貴小の卒業記念植樹)	3 本
国重要文化財 善光寺如来絵伝・聖徳太子絵伝(本證寺蔵)修理補助(第1期完了)	4 幅
市指定文化財の保存事業補助(山崎城址ほか)	3 件

〈文化財管理調査〉



〈東海道のマツ並木補植〉



〈本證寺絵伝修理(完了確認)〉



款	50	教育費	目	70	文化財保護費
項	25	社会教育費			

○事業名 文化財啓発事業 事業決算額 2,669,549 円

安祥文化のさとまつりへの参加者	6,800 人	夏休み子ども考古学講座(6件)	212 人
発掘のあゆみ展	1,800 人	あおぞら歴史教室(3件)	57 人
歴史のひろば展・歴史団体活動発表展	2,912 人	本證寺境内指定記念シンポジウム	116 人
埋蔵文化財センター発掘調査報告展	11,147 人	出前授業などの実施(41回実施)	5,708 人
安城市ジュニアキュレーター講座	15 人	土器づくり教室	309 人

〈歴史のひろば展〉

〈安城市ジュニアキュレーター講座〉

〈夏休み子ども考古学講座〉



〈あおぞら歴史教室〉

〈本證寺境内指定記念シンポジウム〉

〈土器づくり出前授業〉



○事業名 埋蔵文化財調査事業 事業決算額 80,989,505 円

埋蔵文化財調査の概要	発掘調査(本調査)実施	4 件	出土木製品・金属製品保存処理点数	14 点
	確認・試掘調査実施	11 件	本證寺境内出土木材測定件数	2 件
	埋蔵文化財有無照会	680 件	発掘調査報告書刊行数	2 冊

〈木戸屋敷遺跡・木戸古城跡の発掘調査〉

〈明治航空基地関連施設の確認調査〉



○事業名 史料整理活用事業 事業決算額 21,174,551 円

項目	件数	資料数	内訳
寄贈資料群、購入・寄託・調査資料群	22件	10,508点	文書10,317点、民具190点、美術工芸1点

款	50	教育費	目	85	丈山苑管理費
項	25	社会教育費			

○事業名 丈山苑管理事務 事業決算額 139,473,509 円

平成18年度に指定管理者制度を導入し、令和6年度から5年間の指定管理者としてエリアワン株式会社が管理運営を行っている。

丈山苑利用状況

入苑者数	29,155 人
呈茶数	21,007 服
部屋利用者数	169 人

丈山苑事業実績

事業名	開催回数(回)	参加人数(人)
茶会等	8	1,335
演奏会、講座、ワークショップ	41	916
展示会	18	21,202
宵・夜間開苑	7	2,632
合計	74	26,085

丈山苑改修工事

事業内容	事業費(円)	備考
丈山苑四阿屋根修繕	23,650,000	R7年度から繰越
丈山苑池ろ過設備更新工事	25,850,000	
丈山苑改修工事	39,930,000	
丈山苑望京橋改修工事	19,606,400	R8年度へ繰越

令和7年12月15日～令和8年3月31日まで休苑

< 丈山苑新緑茶会 >



< 丈山苑改修工事 >



エ アンフォーレ課

款	50	教育費	目	55	図書情報館費
項	25	社会教育費			

○事業名 図書情報館資料貸出事業 事業決算額 96,935,688 円

市民の生涯学習拠点としての図書情報館をはじめ、地区公民館図書室等12か所のサービスポイントにおいて、貸出事業を実施した。

資料区分	蔵書合計(冊)	個人貸出(冊)	団体貸出(冊)
一般書	551,632	936,470	6,046
児童書	258,791	681,484	137,795
雑誌	26,464	68,838	83
CD・DVD	17,781	48,896	243
合計	854,668	1,735,688	144,167

個人貸出利用者数(人)	
一般	415,897
児童	83,024
合計	498,921
図書情報館	250,405
地区公民館等	248,516

○事業名 読書活動推進事業 事業決算額 4,378,483 円

○ 第5次安城市子ども読書活動推進計画の策定
すべての子どもがあらゆる機会と場所において自主的に読書活動を行える「環境」の整備と「機会」の創出を図ることを目的とした、5年間にわたる「第5次安城市子ども読書活動推進計画」を策定した。

○ 新美南吉顕彰活動
本市ゆかりの童話作家・新美南吉の普及と顕彰のため、安城市新美南吉絵本大賞作品を絵本として出版、販売するとともに、安城版ブックスタート事業で配付した。
また、市内小学校3校10クラス・292人に南吉出前授業を実施した。

○ 安城版ブックスタート事業
子どもの読書活動推進と子育て支援を目的に、保健センターの4か月児健康診査時に読み聞かせの実演とともに1,320人に絵本の配付を行った。

○ おはなし会・行事・講座など

子ども向けイベント	回数(回)	人数(人)
館内おはなし会	228	3,720
出前おはなし会など	719	17,644
行事(クリスマス会など)	16	1,422
① 計	963	22,786

一般向けイベント	回数(回)	人数(人)
おはなし会・朗読会	36	347
保護者対象の出前講座など	22	248
ボランティアなど対象の講座	21	239
講演会・講座など	12	682
② 計	91	1,516

合計(①+②) 1,054回 ・ 24,302人

○事業名 図書情報館ICT活用事業 事業決算額 56,825,225 円

市民のライフステージをサポートするハイブリッド型図書館として、紙媒体資料に加え、データベースや電子書籍などのサービスを提供した。データベースは、新聞社などと契約したコンテンツ13種類に加え、国立国会図書館や本市管理のコンテンツ4種類を提供した。

主な事業	金額(円)	備考
図書館システム運用保守委託料	25,685,000	施設予約システムを含む
情報機器類保守委託料	4,377,719	電子新聞など
利用者用パソコンデータベース使用料	4,278,648	13種類
電子書籍使用料	3,977,961	5,318タイトル・貸出12,252回



(2)第4次安城市生涯学習推進計画の進捗状況について

計画の指標(数値目標)

A: R7年度の目標値を達成
B: R7年度の目標値を達成していないが前年度実績よりも改善
C: R1年度(計画策定時)の実績よりも 後退している(大幅な改善が必要)

				実施時期(年度)					C(CHECK)→A(Action)
	施策・事業名	計画策定時 (R1)	目標値 (R7)	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況(成果と課題)
1	生涯学習に対する満足度	62.6%	65%	65%	－	66.8%	－	62.6%	2年に1回の市民アンケートで調査。R3年度、R5年度と上昇傾向にあり目標値である65%を達成したが、R7年度はR5年度より低い値となった。
	評価区分	－	－	A	A	A	A	B	
2	生涯学習講座・教室の受講者数	12,982人	7,500人 (15,000人)	6,230人	6,926人	6,895人	7,464人	7,231人	幅広い分野の講座・イベントを企画し、R7年度は子ども向けのイベントも積極的に開催した。しかし、コロナ禍を機に参加者が伸びず、定員の減少も定着しているため、市民のニーズを把握しながら社会的課題に対応し、より魅力のある講座・イベントを企画していく必要がある。
	評価区分	－	－	C	B	C	B	C	
3	1年間に新たに活動を始めた自主グループ数	25 グループ	15 グループ (30グループ)	18 グループ	39 グループ	21 グループ	22 グループ	27 グループ	公民館講座等の参加者による自主グループ化があった。また、年に1回会員募集をしている自主グループを一覧化した冊子を公共施設に配布し、活動支援に努めたことで、全ての年度でR7年度の目標値を超えることができた。
	評価区分	－	－	A	A	C	C	A	
4	市民自らが企画・運営する講座数	15講座	20講座	16講座	16講座	13講座	12講座	11講座	市民団体が企画・運営する市民企画講座を、毎年内容を変えて継続し、多様な関心(子育て・女性・多文化共生等)に対応できた。一方、コロナ禍以降は講座企画の応募が低調であるため、事業のPR強化と参加につながる工夫が課題である。
	評価区分	－	－	B	B	C	C	C	

※目標値の上段は新型コロナウイルス感染症対策として会場の定員の半数で事業を実施した場合の数値。下段は通常の場合の数値。

第4次安城市生涯学習推進計画

1 多様なニーズに応じた学びの機会の提供(学習機会の充実)

(1)市民ニーズに応じた学習の提供

			D (Do)					C (CHECK)→A (Action)			
新施策番号			施策・事業名	区分	実施内容 (指標)	実施時期(年度)					実施状況(成果と課題)
						R3	R4	R5	R6	R7	
1	1	2	公民館等における幅広い分野での学習講座の提供	重点	①文化センター主催講座数 ②地区公民館主催講座数 ③青少年の家主催講座数	190	202	228	224	224	現代的課題や市民ニーズに対応した講座を幅広く企画・実施し、幅広い年代層に学習機会の提供ができた。今後も社会情勢や市民ニーズを的確に把握し、市民が「知りたい・学びたい」と求める学習内容を継続して提供していく必要がある。
1	1	4	オンライン方式の講座やICTの知識やスキルを習得するためのセミナーの開催 ★新規	重点 新規	①制作動画数 ②ICT関連講座数	10	22	9	10	7	高齢者向けのスマホの便利な使い方やスマホ決済、小学生向けのプログラミングなど幅広い世代を対象にした講座を企画、実施できた(R4年度が特に多く実施できた)。今後もICTの進展に合わせて講座内容を更新し、市民がデジタル社会に対応できるよう積極的に企画、実施していく。

(2)ライフステージに応じた学習の提供

			D (Do)					C (CHECK)→A (Action)			
新施策番号	施策・事業名		区分	実施内容 (指標)	実施時期(年度)					実施状況(成果と課題)	
					R3	R4	R5	R6	R7		
1	2	7	(シニア) 高齢者向け講座の開催	重点	①高齢者教室の講座回数 ②シルバーカレッジ講座回数 ③レベルアップ講座回数 ④高齢者または定年前世代向け講座回数(ICT関連除く) ⑤ICT関連講座回数	139	171	162	175	184	セカンドライフに新たな趣味を持ち人生を充実させるための講座を多く開講できた。シルバーカレッジでは、年間のカリキュラムにより様々な体験をし、仲間作りに努めた。一方で、毎年を受講者募集に課題があり、引き続き、継続的な広報と内容の充実を図っていく必要がある。

(3)安城市の地域資源を活かした学習の提供

			D (Do)					C (CHECK)→A (Action)	
新施策番号	施策・事業名	区分	実施内容 (指標)	実施時期(年度)					実施状況(成果と課題)
				R3	R4	R5	R6	R7	
1-3-1	地域資源、ものづくり文化を伝承する学習プログラムの実施	重点	①ものづくり講座数 ②利用相談会数 ③利用講習会数 ④農業・歴史等地域資源講座数	84	63	79	64	66	文化センターにある3Dプリンターやレーザー加工機を使用したものづくり講座が好評であった。R7年度は3Dプリンターを新機種に更新し、より良い環境を整えることができた。機器の使用に限界があり、多くの受講者の受入が難しいことが課題だったため、ワークショップを季節ごとに実施し、より多くの方が機器を体験する機会を設けた。

第4次安城市生涯学習推進計画

1 多様なニーズに応じた学びの機会の提供(学習機会の充実)

(1)市民ニーズに応じた学習の提供

				D (Do)					C (CHECK)→A (Action)		
新施策番号				施策・事業名	実施内容 (指標)	実施時期(年度)					実施状況(成果と課題)
						R3	R4	R5	R6	R7	
1	1	1		市民ニーズ把握のためのアンケートの実施	①公民館講座アンケート回収講座数 ②青年講座アンケート回収講座数	160 講座	163 講座	186	201	185	公民館講座等の開催の際、講座最終日にアンケートを配布し、回収した。アンケート結果は講座企画担当者が集まる会議で検討し、次年度以降の講座企画に生かした。
1	1	3		まちかど講座の開催	総メニュー数	71	72	76	75	77	多くの市民が興味を持ってそうなタイトルの講座を用意し、積極的に広報した。また、年に1度メニュー内容の見直しも行い、R7年度には最多の77メニューを用意することができた。

(2)ライフステージに応じた学習の提供

				D (Do)					C (CHECK)→A (Action)		
新施策番号				施策・事業名	実施内容 (指標)	実施時期(年度)					実施状況(成果と課題)
						R3	R4	R5	R6	R7	
1	2	1		(子ども) 子どもの生涯学習事業	プログラミング・キャリア教育講座数	11	14	8	13	17	プログラミング講座やお金の基本講座など、子どもたちのキャリア発達の支援ができるような様々な講座を開講した。引き続き、受講する子どもが興味を持ってもらえるような講座企画を検討していく必要がある。
1	2	2		(青少年) 青少年の体験学習機会の充実	①職場体験学習件数 ②公民館まつり等ボランティア件数	7	16	32	33	32	各公民館(文化センター含む)で積極的に職場体験学習を行った。コロナ禍以降はイベント等の再開を機に多くの体験機会を提供できた。今後もイベントでのボランティアの受け入れを積極的に実施し青少年の体験学習機会の充実を図っていく。
1	2	3		(青少年) 青少年のキャリア教育の実施	①ユースカレッジ回数 ②ジュニアリーダークラブ回数	31	62	52	47	44	専門的知識を有する方を招き講座を開催したことや、自分たちで研修を行うことによってリーダーとしての素養を身に付けることができた。同時に仲間づくりの機会を提供することができた。今後は青少年の家閉館に伴う事業の運営方法について検討していく必要がある。
1	2	4		(成人) 家庭教育学級等、地域と連携した家庭教育の充実	①家庭教育学級の開催回数 ②乳幼児学級の開催回数 ③地域で子育て活性化事業の開催回数	83	89	89	93	91	乳幼児学級や家庭教育学級については、地区により二期制で開催する館や一期にして回数を多く開催する館など、対象や地域性により工夫し実施した。またネット申込みができるようにして、利用者の利便性向上に努めたことで毎年多くの方に参加していただくことができた。
1	2	5		(成人) 働き盛り世代向けの講座の実施	土日の18歳以上・親子の講座、平日夜間(18時以降)の講座数	84	59	48	95	72	土日に加え平日夜にも講座を開講したことで、働き盛り世代の参加機会が広がり、同世代の交流や情報交換の場をつくることができた。また親子向け講座では、共同体験の機会を提供し、家族のふれあいにつながった。今後も、働き盛り世代が無理なく参加できる日程・内容・運営を工夫し、参加しやすい講座の開講に努めていく。
1	2	6		(成人) 託児付き講座の開催	託児付き講座数	18	27	38	31	38	未就園児を持つ保護者が安心して学べる環境づくりのため、託児付き講座を多数実施することができた。今後も託児の実施回数・内容の充実などより多くの方が参加しやすいよう、参加の選択肢の拡大に努めていく。

1	2	8	(全年齢) 現代的な課題に対応した講座の開催	①現代課題講座数 ②市民大学開講数 ③連携した講座数	41	103	109	108	99	環境、健康、金融、ライフスタイルなど、多様化する現代的な課題について学ぶことができる講座の開催に努めた。引き続き受講者の問題意識や社会情勢に対応したテーマ設定をしていく。
---	---	---	---------------------------	----------------------------------	----	-----	-----	-----	----	---

2 学びの成果を地域に活かすつながりづくり(学習成果の活用)

(1) 自主グループの育成と地域の絆づくり

				D (Do)					C (CHECK)→A (Action)		
新施策番号				施策・事業名	実施内容 (指標)	実施時期(年度)					実施状況(成果と課題)
						R3	R4	R5	R6	R7	
2	1	1		公民館の利用促進	①地域ふれあい事業参加者数 ②文化センター講座・イベント、公民館講座受講者数(申込者数)	10,404	31,671	31,087	36,649	35,929	多種多様な事業を通じて地域における世代を超えた交流を図ることができた。特に各公民館の地域ふれあい事業や公民館まつりには多くの参加者があった。これからも地域のつながりが深まるよう、交流のきっかけづくりを続けていく必要がある。
2	1	3		自主グループの活動発表の場の提供	①公民館まつり回数 ②芸能まつり回数 ③作品展示等で上記以外の回数	49	54	54	51	52	R4年度以降は全ての館で公民館まつりを実施することができた。今後も自主グループの活動発表の場の提供を積極的に実施する。
2	1	4		生涯学習ボランティアセンターの充実	①登録団体数 ②ボランティア支援センター会議開催数	15	16	18	18	17	登録団体数は例年どおりの数となった。今後も利用団体を増やすため市民企画講座や社会課題講座の運営団体または受講生のグループ等に声かけをしていく。
2	1	5		地域住民の意見を反映した公民館活動の推進	①活動推進協議会会議数 ②北部コミュニティ会議数	42	42	42	42	42	地区館9館で活動推進協議会を年2回実施し、地域住民の声を公民館事業に反映できるよう努めた。北部地区については北部コミュニティと協働し各種事業を実施した。引き続き連携強化に努め、地域のニーズにあった取組みを進めていく。

(2) ボランティア活動等への橋渡し

				D (Do)					C (CHECK)→A (Action)		
新施策番号				施策・事業名	実施内容 (指標)	実施時期(年度)					実施状況(成果と課題)
						R3	R4	R5	R6	R7	
2	2	1		ボランティア入門講座 の開催	①シルバーカレッジ での開催数 ②公民館講座数	6	7	5	5	7	シルバーカレッジでは、ボランティアに関する講座を実施したほか、コミュニティ・スクール等について解説し、地域学校協働活動等への理解を深めた。受講後のボランティア活動参加につながるような意識啓発を行っていく必要がある。
2	2	2		ボランティア活動団体の 情報提供	①市民出前講座実施 団体数 ②青少年ボランティア センター登録数	52	58	56	56	57	ボランティア活動団体が実施する市民出前講座の案内を市内公共施設などに配布、ホームページ掲載など広報し、活動団体のPRを行った。今後もボランティア活動をする市民団体による市民出前講座のメニューの多様化を推進し、ボランティア活動に関心を持ってもらえるような情報発信を行っていく。

3 市民の主体的な学びを支える環境づくり(学習環境の整備)

(1)市民の主体的な学びの支援と生涯学習の総合的な情報提供

				D (Do)					C (CHECK)→A (Action)	
新施策番号			施策・事業名	実施内容 (指標)	実施時期(年度)					実施状況(成果と課題)
					R3	R4	R5	R6	R7	
3	1	2	若者が企画・立案する生涯学習の推進	①成人式実行委員会人数 ②ユースカレッジの人数 ③ヤングセミナーの人数	48	51	36	43	40	実行委員が自ら企画・運営する機会をつくることで、主体的な学びを支える環境づくりに努めた。今後も実行委員の挑戦を後押ししながら、学びが広がる運営体制の充実を図っていく。
3	1	3	生涯学習情報の提供	あんてな発行回数	4	4	4	4	4	年4回概要版を市内全世代に配布し、冊子版は市内公共施設に設置した。電子版は市HPに掲載し、分かりやすい情報提供に努めた。また中学生講座版も作成し、各中学校で掲示・周知した。今後も多様な媒体で発信していくとともに、学びやスポーツ等の情報を集約して提供するなど、新たな分野に興味を持つようなきっかけづくりを進める。
3	1	4	ICTの活用による情報提供	望遠郷の生涯学習に関するページ閲覧数	42,526	43,764	42,454	65,304	57,123	あんてなの発行に合わせて、市HPの情報を最新の内容へ適宜更新した。安城市公式LINEから市HPをリンクさせることで、多くの方の閲覧があった。6年度以降は、公民館講座やものづくり講座など、ウェブ申込みができる講座等の閲覧数が増加した。

(2)相談体制の充実

				D (Do)					C (CHECK)→A (Action)		
新施策番号				施策・事業名	実施内容 (指標)	実施時期(年度)					実施状況(成果と課題)
						R3	R4	R5	R6	R7	
3	2	1		生涯学習活動の相談の対応や地域活動のコーディネートができる人材の育成	相談・コーディネートの人材育成講座数	1	1	1	2	1	地域コーディネーター養成に関する講師を県に派遣要請し、地域学校協働活動に関する講座を実施した。地域学校共同活動推進員を各学校に配置し、学校と地域活動を行う関係者をつなぐ橋渡しをするとともに、活動をコーディネートできる体制を作っていく必要がある。
3	2	2		相談窓口の充実	①自主グループに関する相談件数 ②市民企画講座相談件数 ③ボランティア支援センター会議開催数	145	271	192	186	186	自主グループに関する相談件数が多くあった。HPなどに書いてある情報もあるので、情報をスムーズに見つけることができる方法を検討する必要がある。

(3)指導者の発掘・育成・活用

				D (Do)					C (CHECK)→A (Action)	
新施策番号			施策・事業名	実施内容 (指標)	実施時期(年度)					実施状況(成果と課題)
					R3	R4	R5	R6	R7	
3	3	1	地域からの人材の発掘	市民(隣接市含む)の新機講師登録数	9	7	14	13	13	講師からの申し出に積極的に対応した。新規講師から登録方法についての問い合わせがあるため、登録の方法についてわかりやすく提示する必要がある。
3	3	2	指導者の人材育成	公民館講座等で市民(隣接市含む)の新規講師を登用した数	23	35	57	60	42	公民館講座において、積極的に新規講師の登用に努めた。引き続き新規講師の発掘・登用に努め、開かれた講座運営を図っていく。
3	3	3	指導者情報の活用	更新回数	0	0	1	1	0	講師情報で変更があった点について更新し、市公式ウェブサイトで公開した。市民に必要な情報が届くよう、適切な更新頻度で情報を更新していく。

(4)生涯学習施設の維持管理と運用

				D (Do)					C (CHECK)→A (Action)		
新施策番号				施策・事業名	実施内容 (指標)	実施時期(年度)					実施状況(成果と課題)
						R3	R4	R5	R6	R7	
3	4	1	生涯学習施設の維持管理	施設保全計画記載の修繕・工事数	5	11	2	2	2	施設保全計画に基づき保全改修工事を行った。引き続き計画に基づいた保全改修工事を進めていく。	
3	4	2	ICT環境の整備・充実	電子申請システムを使用して申込を実施した講座・イベントの数	195	190	191	224	226	公民館講座等で電子申請システム(ネット申込み)を使用し、誰もが手軽に申込みできるようにした。今後は公民館の施設オンライン予約の拡充など、さらなる利便性の向上に努めていく。	

6 連絡事項

令和8年度社会教育委員関係会議等について

会議名	日時・会場	内容
公民館主事等社会教育担当者 研修会	10月27日（火）～ 12月9日（水） へきしんギャラクシープラザ	研修会等（全4回オンライン）
東海北陸社会教育研究大会 ※一部委員のみ	10月8日（木）～ 10月9日（金） 三重県津市	記念講演、分科会等
愛知県社会教育委員連絡協議会 西三河支部 第2回地区研修会	令和9年 1月27日（水） 幸田町	講演、事例発表等
第2回安城市社会教育審議会	令和9年 3月25日（木） へきしんギャラクシープラザ	令和9年度主要事業概要・ 事業案等

予定ですので、変更となる可能性があります。
 その他研修、セミナー等のご案内をさせていただく場合があります。
 （ご都合がつく場合はぜひご参加ください。）